

聖書の言葉

神はこのイエスを死の苦しみから解放して、復活させられました。イエスが死に支配されたままでおられるなどということは、ありえなかったからです。

使徒言行録2章24節

切りとって送ってください

郵便はがき

241-8501

お手数ですが
切手をお貼りください

横浜市旭区上川井町846
VOPバイブルスクール行

ご意見、ご感想をお書きください。

2009078000平

復活の奇跡 4

でいた望み——クリスチャンになりたいという希望を言ってしまったのです。ご主人は快く同意されました。クリスチャンになった彼女は、幸福に輝いているように見えました。死を恐れて眠られぬ夜を過ごしたことも多かったその心に「神は、その独り子をお与えになったほどに、世を愛された。独り子を信じる者が1人も滅びないで、永遠の命を得るためである」(ヨハネによる福音書3章16節)という聖書の言葉が染み込んでいったのです。

「こんなに幸せで良いのでしょうか」。彼女の病床に伺うたびに、必ず何度も繰り返し語られるのです。病状が次第に進んでいっているというのに。

Kさんの最後の言葉は、イエスが再び来られるのを待つ言葉でした。あの初代のクリスチャンと同じように——。

VOPバイブルスクール入門講座 2

もうひとつの必要 全12課

- 1課 あなたは愛されています
- 2課 もっとも愛されている本
- 3課 あなたと出会うために
- 4課 いのちをかけた愛
- 5課 復活の奇跡
- 6課 あなたも変わることができる
- 7課 愛に生きるために
- 8課 特別な出会いの場所
- 9課 悲しみの彼方
- 10課 愛する人の目覚める朝
- 11課 希望の約束
- 12課 愛にあふれた故郷

その他のVOPバイブルスクールの講座

もっと
学びたい方へ

入門講座 全12課
聖書を初めて開く方でも手軽に学べる講座です。

基礎講座 全15課
入門講座を終えた方や、詳しく学びたい方のための講座です。

真理への道 全18課
キリスト教の背景のない方のためのキリスト教入門講座です。

ストラクチャー預言講座 全24課
歴史や預言から聖書が学べる講座です。

ニュースタート健康講座
健康の原則についてわかりやすく学べる講座です。



VOPバイブルスクール
〒241-8501 横浜市旭区上川井町846
メールアドレス: info@vopjapan.net
<https://vopjapan.net/>

もうひとつの必要

5

VOPバイブルスクール入門講座2

復活の奇跡



問題1 多くのユダヤ人たちはイエスのことをどう思っていたのでしょうか？

問題2 イエスの復活は何を意味していましたか？

問題3 イエスの復活はしばしば疑念とあざけりの対象になるにもかかわらず、ほんとうのことだと伝えられるのはなぜですか？

問題4 弟子たちは迫害の中で死ぬとわかっていても福音を伝えたのはなぜでしょうか？

問題5 キリストの復活について、感じたことをお書きください。

✂ 切りとって送ってください

黒のペンでていねいにご記入ください。(□の中に印をつけてください)

解答1 国を率いて他国を打ち破り、大ユダヤ帝国を作る王
 貧しい身なりをした一人の預言者
 人類を救う、救世主

解答2 イエスの王としての万能さと偉大さ
 地上の王としてではなく全世界の人々に神の愛と赦しを伝え、神の国へ招くこと
 イエスの奇跡のすごさ

解答3 その後の弟子たちの行動が、イエスの復活なしには考えられないから
 イエスを信奉する人々がそのように言いふらしたから
 数多くの人々が復活後のイエスを目撃したから

解答4 死が恐くなかったから
 無責任だったから
 神から受ける永遠の命こそすべてに勝ると確信していたから

解答5

フリガナ
お名前 登録番号

ご住所 〒

電話番号 ()

復活の奇跡 ③

です。

確信を伝えていく弟子たち

イエスの復活への弟子たちの確信の深さは、彼ら
 がその信仰を他に伝えていったところにも現れます。

初期のキリスト教会には、すぐ迫害の火の手が拳
 がります。紀元64年のローマの大火のあと、クリス
 チャンであるというだけで多くの人々が殺されていき
 ました。自分たちの伝えたことを信じたために殺さ
 れていく人々を、弟子たちはどう思ったのでしょうか。
 もし弟子たちの確信に少しでもあやふやなところ
 があったならば、彼らは「信仰を捨てて生き延びて
 くれ」と叫んだに違いありません。

けれども、弟子たちはそうは叫びませんでした。
 信じたならばこの人もまた殺されると知りながら、
 伝え続けたのです。私はそこに、すさまじいとしか
 言いようのない彼らの確信を見るのです。弟子ヨハ
 ネはこう書いています。「これらのことが書かれたの
 は、あなたがたが、イエスは神の子メシア（救い主）
 であると信じるためであり、また、信じてイエスの
 名により命を受けるためである」（ヨハネによる福音
 書20章31節）

弟子たちは、地上の命と、もう1つの神から受け
 る永遠の命があるのを知りました。そして、この永
 遠の命こそなものにも勝ると信じて、死を恐れず
 語り続けていったのでした。

現代の弟子たち

迫害の中を、死をも恐れなかった初期のクリスチ
 ャンと同じように、現代もまた、死を恐れないたく
 さんのクリスチャンがいます。

Kさんは末期がンを患っている初老の夫人でした。
 ある日、高熱を出した彼女は、もうろうとした意識
 の中で、親族への遠慮から口に出さない（裏面へ続く）

復活の奇跡 ②

事件だったからです。

でも、イエスの弟子たちの行動を見ると、復活
 の事実なしには説明できません。十字架前、弟子た
 ちは人間的な弱さをたくさん持っていました。イエ
 スが捕らわれた時、弟子たちは皆逃げてしまいまし
 たし、ペトロなどは、イエスを知らないと言ったとわ
 たって否定しています。

その弟子たちが十字架の後、すっかり変わってし
 まいました。彼らはもうひるみませんでした。待ち
 受けているであろう迫害と死の危険の中を、最後ま
 でイエスを伝えきって殉教していったのです。弟子た
 ちを変えたのは、イエスの復活に対する強い確信で
 した。希望的な憶測や風聞などではなく、彼らが見
 た否定しようのない事実でした。彼らはそれに自分
 の生涯のすべてをかけたのです。

パウロはキリストの復活がなかったならば、それ
 を伝えている「わたしたちはすべての人の中で最も
 惜めな者です」（コリントの信徒への手紙1・15章19
 節）と言っています。弟子たちはそのために家を捨て
 ました。国を捨てました。そして最後には命までも
 捨てているのです。

さらに、パウロは次の20節に「しかし事実、キリ
 ストは眠っている者の初穂として、死人の中からよ
 みがえったのである」（口語訳）と書いています。「し
 かし事実」とは、力強い言葉です。例えば私が気象予
 報士で、さまざまなデータに照らして今日は雨が降
 らないと予報したとします。でも誰かに、「しかし事実、
 今降っているよ」と言われたらすべてが覆ってしま
 います。その強い言葉をパウロはここで使っているの
 です。

今日、この世界にたくさんの教会や多くのクリス
 チャンが存在するのは、この復活という事実がある
 からです。つまり、キリスト教会は、弟子たちの復
 活の事実に対する強い確信の上に成り立っているの

復活の奇跡 ①

打ちのめされた弟子たち

エルサレムの城壁の外、ゴルゴタと呼ばれる丘の
 上には、3本の十字架が立てられていました。その
 中央に立つイエス・キリストの十字架のまわりには、
 人々の深い悲しみがうずまいていました。

イエスの優しさに満ちあふれていた瞳は今閉ざさ
 れ、人々のために伸ばされていたその手は、粗く削
 った十字架にむごたらしく打ちつけられていました。
 イエスの死に、弟子たちは恐れと絶望のただ中に投
 げ込まれ、なすすべもなく立ち尽くすだけでした。

多くのユダヤ人は、旧約聖書に預言されている救
 い主とは国々を打ち破って大ユダヤ帝国を築き上げ
 る王だと、勝手に思い込んでいたようです。ですが
 紀元1世紀前後のユダヤの歴史を見ると、自称、
 他称の救世主が雨後の筍のように現れています。弟
 子たちもイエスをそうした救国の英雄とみなしてい
 ました。だからこそ、戦いも始まらぬ先の総大将の
 死に打ちのめされてしまったのです。

でも、弟子たちの絶望は3日後、イエス復活の知
 らせを受けて驚きと喜びに変わります。復活された
 イエスは、40日間にわたってたびたび彼らに現れて、
 神の国について話されました。そして、再び来ると
 の約束のうちに天に昇られたのでした。

そのとき、初めて弟子たちはイエスが地上の王と
 してではなく、全世界の人々に神の愛と赦しを伝え、
 神の国へと招くために来られた方であることを理解
 しました。それからのち弟子たちは、残る生涯を命
 をかけてイエス・キリストを伝えていくことになるの
 です。

立ち直った弟子たち

イエスの復活と昇天は、多くの人に疑問を持たせ、
 嘲るきっかけを与えました。常識では理解できない